

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成27年2月2日

計画の名称	1 能登地域の観光周遊性を向上し、交流人口の拡大と訪れる人と迎える人とのふれあいを育む道路整備									
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）			交付対象	石川県、珠洲市、輪島市、七尾市、羽咋市、能登町、穴水町、志賀町、中能登町、かほく市、宝達志水町					
計画の目標	能登地域には、能登半島の美しい海岸線をはじめとする豊かな観光資源が多くあるため、県内外から多くの観光客が訪れているが、近年、観光客は減少傾向にある。そこで、能登空港を拠点として、各地域に点在する観光施設やお祭り・イベント会場へのアクセス道路等を整備するとともに観光地周辺の道路や街並みを整備することで、能登地域を訪れる観光客が1年を通じて、より安全・快適に観光地を周遊し、迎える人々との豊かな交流が図れるよう、能登地域の観光支援、地域の活性化を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 能登地域は、県内外から多くの観光客が訪れている地域であるため、道路整備を行うことで、1年を通じて交通の安全性・快適性が確保されることにより、目的地への到着時間が短縮され、より多くの観光地への周遊及び滞在時間が増加する。 									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)	
① 交流ふれあい時間 (交流ふれあい時間) = 整備による時間短縮(整備延長 / (改良後速度 - 現況速度)) × 観光入り込み客数							0 万人・時間/年	49 万人・時間/年	100 万人・時間/年	
全体事業費	合計 (A+B+C)	17,822百万円	A	15,642百万円	B	百万円	C	2,180百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	12.2%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
石川県において評価を実施	事業完了後 公表の方法 石川県ホームページで公開

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・(国) 249号藤橋バイパス及び七尾道路の整備により、狭路区間や渋滞区間が解消されたことから、移動時間が短縮し、七尾市街地での滞在時間が長くなった。
- ・(主) 内浦柳田線(珠洲道路)の整備により、珠洲市へのアクセス性が向上したことから、市内観光施設での滞在時間が長くなった。

II 定量的指標の達成状況

指標①(交流ふれあい時間)

最終目標値	100万人・時間/年
最終実績値	181万人・時間/年

目標値と実績値に差が出た要因

平成25年3月の「のと里山海道の無料化」や、平成27年3月の「北陸新幹線金沢開業」などの効果を能登地域へ波及させるため、集中的な投資により、完成の前倒しを行った路線があるため。

最終目標値	
最終実績値	

目標値と実績値に差が出た要因

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

- ・(国) 249号藤橋バイパス1期、2期の完成により、JR七尾線により分断されていた東西地域を連結し、地域間交流の促進を図ることができたほか、能越自動車道や能登総合病院へのアクセス向上が図れた。

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・平成27年2月の能越自動車道(七尾氷見道路)の開通や平成27年3月の北陸新幹線金沢開業など、石川県では新たな高速交通ネットワークの整備が進展することから、その効果を能登地域へも最大限波及させるためにも、道路整備を進め、観光誘客につなげ、地域の活性化を図る。
- ・能登地域には多くの歴史的遺産や豊かな自然景観を活かした観光施設が多数存在していることから、これらの観光施設までのアクセス道路を整備することにより、移動時間を短縮させ、ふれあい時間をさらに長くすることができる、地域の活性化につなげることができる。